

11月30日（土）文集

11月最後の日。本日は卒業文集の原稿を点検すること、校長室ではほとんどの時間を使いました。夢や小学校での思い出が多い中、自分を変えてくれた出来事、言葉などの作文もあります。運動会や体育祭、音楽会の思い出を読むと、私が知らなかった努力が分かります。また、低学年での思い出を読むと、人の考えや行動を変えてくれる行事は大きいものとは限らないことも知りました。



11月29日（金）体験・司会・出発

藤沢中学校の生徒5人が社会体験学習として本校で二日間活動してくれました。一年生の教室で子供たちに関わってもらいました。本日が二日目、活動最終日。休み時間はその姿が見えないほど、一年生が回りにまとわりついていました。中学生に感想を聞くと、「扇小学校の子どもたちはかわいい」と話してくれました。将来また、学校に戻ってきてくれる子が一人でもいたら嬉しいです。

低学年の音楽会練習を見ました。歌も合奏もすばらしいと思いましたが、子供たちが進行や曲紹介をしている姿が一番感動しました。まだ練習なのですが、立派な姿でした。二年生の子がこの大きな会を進行するのです。「二年生は、ステージに移動して下さい」、本来なら先生が指示することを、司会の二年生が行います。50周年式典では「子供たちが主体的に活動していて感動した」というお声をたくさんいただきました。低学年でもこのような声を聞くことができそうで、嬉しくなりました。

六年生が社会科見学に出発していきました。さすが最高学年！と感じたことが短い時間の中でも3つありました。先生が前に立つと一瞬で声が消えたこと。バスに素早く乗り込んだこと（修学旅行の反省が生きている）。ガイドさんに「〇〇さん、よろしくお願いします」と名前付きであいさつをしていたこと。こんな子供たちを誇りに思



います。今日一日、とっても気分が良かったです。

11月28日（木）学級活動・意見・九九

三年生が学級活動で「仲良し祭」で何をするかを話合っていました。ボーリングを行うかどうかが焦点になった場面がありました。「ピンはどうするのか」「トイレトペーパーの芯がいい」「それではすぐに倒れてしまう」「ペットボトルを持ってきて水を入れる」「大きさが違うから心配」「水の量を調整して同じ重さにする」「誰が持ってくるのか」「みんなで持ってくればいい」「持ってこれない子はどうするのか」。おもしろい話し合いでした。

四年生の学級活動では「冬のミニ運動会」について話し合いがありました。種目はすんなり決まったのですが、係の人数についていろんな意見が出ました。「審判は一人では足りない」「応援団は多すぎる」「得点係と審判は一緒にすればいいのではないか」……。司会が「誰か審判に移動してくれる人はいますか」と投げかけるとすんなりと6人の子が審判に変えてくれました。自分の考えを集団に合わせていく心情が育っていると感じました。

二年生の算数ではすべての九九を作り上げたようです。この日は 3×12 をどうやって考えるのか、学び合っていました。ある子が「 $3 + 3 + 3 + 3 \dots$ 」と3を12個並べてたし算をしました。ノートの幅いっぱいです。ある子が、TVに映し出されたノートを見てすぐに「12個だ！」と声をあげました。「数えなくても分かるの？」先生に聞かれてた声の主は「だって、かける数が12だから」と発言しました。別の考えも発表されました。 $27 + 3 + 3 + 3$ です。この考え方についても、学び合いで深めていました。



11月27日（水）音楽会・感謝・お店

音楽会に向けた練習を見る機会が増えました。体育館



に学年全体で集まり、歌や演奏の練習だけでなく並ぶ位置の確認作業も行われていました。学年全体がステージに並ぶだけでもたいへんなことです。誰かが位置取りを間違えると、端の子は立つ場所がなくなってしまうのです。本日練習した学年は、あとは本番を待つのみようです。歌声だけでなく、移動の様子も見ていただけるとありがたいです。



二年生が調理員さんへの感謝の手紙を書いていました。書き始める前に、「どんなことを書けば喜んでもらえるか」を学び合っていました。「毎日おいしい」「毎日作ってくれる」「幼稚園で食べられなかった物が食べられるようになった」「苦手な物もおいしい」「おかげで大きくなった」など発言がありました。「〇〇さんは、いつも牛乳をガブガブ飲んでます」という情報を話してくれた子もいます。



おうぎ学級が、自分たちで作った物を買ってもらうためのお店を開きました。「おうぎショップ」です。多くの保護者や先生たちが駆けつけ、大賑わいでした。コースター、ランチョンマット、カレンダー、磁石、ブレスレット、髪留め、キーホルダー、野菜、メモ立て、写真立てなどが飛ぶように売れていきました。収益は、自分たちの学習活動使うことまで決まっています。目的がはっきりとした活動で成果が出ると、大きな自信になるでしょう。



11月26日（火）周年祭・振返・消防

計画委員会の子が進めてきてくれた50周年祭、ついに本番を迎えました。とっても楽しい会になりました。どの教室も魅力あふれるお店でした。遊びの中身だけではなく看板や黒板の文字や絵でワクワク感を感じずにはいられませんでした。上学年の子が下学年の子と楽しそうに話しながら教室を回り、笑顔あふれる様子で遊んでいました。見ていだけで幸せになりました。50周年をみんなで祝う最高のイベントになったと思います。



一年生が算数でいろんな形を使って学びました。授業の

終わりに教室に入ると、振り返りを書いていました。見せ
てもらおうと、しっかりと学びを振り返っていることが分か
り嬉しくなりました。「**ぎもん**、サイコロはどこから見て
もおなじかたちなのか？」と書いている子がいました。疑
問を残しています。これが次の学習につながっていきます。
学習意欲が高い子は、必ず**疑問**をもつのです。

三年生が校内の消防施設を見て歩き、気づいたことを
まとめていました。なかなか鋭い気づきがあります。「**非
常口**は階段の近くにある」「**消化器**は取りやすい所におい
てある」「家庭科室や図工室は、準備室に**火災報知器**があ
った」「非常口は**つなが**っていた」などなど。普段、見過
ごしていることも「消防」という視点や思考を持って見て
見ると、いろんな発見があったようです。



1 1月25日（月）祭前日・自学・電磁石

50周年祭前日。実行委員会の子から7回目の放送があ
りました。お店の**回り方**、**お店番**の仕方などの説明・確認
が内容でした。「兄弟学級で**離れず**に回して下さい」「お店
では**分かりやすく**説明して下さい」「お店準備の時間は、
9時50分までです」「明日は**扇小**みんなで**楽しもう**」と呼
びかけました。確実に盛り上がってきています。練習して
いるクラスが、今日もありました。ワクワクします。



一年生のクラスに入ると「テストで**100点**とれるよう
に練習しよう」というめあてが黒板に書いてありました。
プリントがたくさん用意されていて、問題をそれぞれのペ
ースで解いています。**タブレット**でドリル学習をしている
子もいました。プリントに取り組んでいるこの一人が**廊下
に出た**のでついていくと、**答え合わせ**をしています。これ
も自走する姿、自分の力で自分を磨いている姿です。ちな
みに、写真の子は全問正解で飛ぶように**教室**に戻っていき
ました。



理科室では五年生が「電磁石の働きを**大きく**できるか」
を学び合っていました。「**電池**を増やせば大きくなる」と

考えた子は、理由もしっかりと発言していました。「四年生の時に電池を増やしたら**プロペラ**が早く回ったから」と。先生が増やし方を問いかけると「**直列**です。並列だと早くなりませんでした」としっかりと答えました。他にも「**コイル**をもっとたくさん巻けば大きくなる」という意見も出ました。もちろん理由も発表していました。



11月24日（日）和食

11月24日は「和食の日」だそうです。和食を食べることが減ってきていることに気づきました。外食ではどうしても洋食や中華になってしまいます。夕食は刺身でしたので、よく味わって、日本人として生まれたことの幸せをかみしめて食事をしました。和食の魅力には主に四つあるといわれます。

- ① 多様で新鮮な食材とその**持ち味**の尊重
- ② 栄養バランスに優れた**健康的**な食生活
- ③ 自然の美しさや**季節**の移ろいの表現
- ④ 正月などの年中**行事**との密接な関わり



11月23日（土）谷川俊太郎

先日、谷川俊太郎氏の訃報を知りました。とても残念です。教師になってから氏の作品にはお世話になってきました。「**スイミー**」「**生きる**」「**うとてとこ**」「**かっぱ**」などなど多くの詩や作品を授業でも取り上げました。自宅の本棚に**詩集**が一行並んでいた時もありました。**日本語**と**リズム**を大事にされた氏からは多くのことを学びました。ご冥福をお祈りいたします。



11月22日（金）光・見学・合唱

三年生のクラスに入ると、**天井**にたくさんの**光**が走り回っていました。理科の学習です。筆箱や定規などを使って反射する光を天井に当てているのです。「**あれは俺！**」「あ



れ私！」と動いている**光の主**をたくさんの子が**主張**していました。どれがどれだか分かりません。手にしている反射元を動かせば光も動くことは学んでいるようです。子供たちが天井の光を**キョロキョロ**と追いかける表情は、正に張り切って学ぶものでした。

五年生が**川口スキップシティ**に社会科見学で出かけていきました。先生からは「しっかり勉強してこよう」という話がありました。どんな勉強をしてくるのか、何人かの子に楽しみにしていることを聞いてみました。「**ディレクター**」「**空飛ぶ絨毯**」「**カメラの操作**」「**撮影**」など、楽しそうな活動が待っていることが容易に想像できました。中の一人が「**緊張**しています。ちょっとできるか・・・」と答えてくれました。学習の**構え**ができている子だと思いました。しっかりできたか、後で聞いてみたいです。

校内音楽会が近づいてきました。朝の会や音楽の時間に気持ちの入った合唱が廊下まで聞こえてきます。体育館では一年生が学年全体で練習を始めました。「**たくさんの保護者**の方が見に来てくれる」こと、「**二年生も**見てくれる、聴いてくれる」ことをはじめに先生が話していました。一年生にとっては**音楽会デビュー**。張り切って練習して、張り切った歌声を聴かせてもらいたいです。



11月21日（木）さつまいも×2・円

さつまいもを使った授業を続けてみることにしました。**一年生**は、さつまいもを使った**スタンプ作り**を行っていました。切ったさつまいもに**ひご**を使って模様を書いてスタンプにするのです。初めのうちは、**穴**を作っているだけでしたが、ある子が自分の名前に使われている「**お**」の文字を作りました。すると近くの子は「**山**」の字を刻みました。絵の具とつけて紙に押すとどんな模様が浮かび上がってくるか、ワクワクしながらの活動でした。

家庭科室ではおうぎ学級の子が「**さつまいもごまサラダ**」を作っていました。小さく切ったさつまいもを器に入れて



張り切ってあえているところでした。すでに部屋全体にいい匂いが漂っています。おいしいこと間違いなし。早く終わった子が私のところにできたてのサラダを持ってきてくれました。「どうぞ」と。「どうやって作ったのですか」と質問すると「お芋をよく混ぜて、ハムを入れて、マヨネーズを入れて、またよく混ぜて・・・」と教えてくれました。ごちそうさまでした。



6時間目、校長室にやってきたのは数人の三年生です。「円を探しています」というので中に入ってもらいました。温度計、時計、コーヒーカップ、うちわ、優勝カップ、ドアノブなどなどの写真を撮っていきました。「いっぱいある」ことが他の子たちに伝わったのでしょうか、これチャンスと思ったのでしょうか、代わる代わる、タブレットを持った三年生が入ってきました。学習と生活を結びつける良い活動です。



11月20日（水）命・円・認める

11月20日は、扇小学校「命の大切さを考える日」です。平成17年11月11日、登校中交通事故にあった10歳の扇っ子が11月20日に死亡しました。学校や勉強、友達が大好きだったこの子のことを、そして扇っ子の命の大切さを忘れることがないように設定された日です。朝会では、友達の命を輝かせる教室、集団にしようという講話をしました。特に「友達に認められるからこそ命が輝く」ということを中心に、全クラスで命の大切さを考えました。



三年生が算数の時間、円を書いていました。いわゆるコンパスはありません。「きれいな丸を書こう」という課題で、配布された紙と筆記用具を使ってノートに書いていました。中には十二重円を見事に書いた子がいます。円だけで雪だるまを表現した子もいます。「一つの場所から同じ距離に線を引いていけばきれいな円になる」と振り返りで発言してくれた子がいました。子供は活動を通して大事な概念を獲得していく、それを実感させてもらいました。



家庭科室でミシンを使って裁縫をしているクラスがありました。「調子はどう？」などと話しかけていると、嬉しい反応がありました。女子二人が「〇〇くん、めっちゃ上手だよ」と私に教えてくれたのです。友達の自慢をしてくれたわけです。朝、「命が輝く教室、集団」について話したことを思い出しました。自慢してもらった子も、さらに張り切って活動が続けていました。友達に認めてもらおうと命はさらに輝くことを目の前で見せてもらいました。

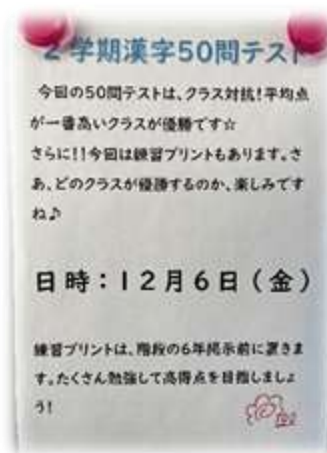


11月19日（火）転入生・文集・書き初め

一年生に新しい仲間が入ってきました。朝から歓迎会の準備が行われていて、黒板にはメッセージがところ狭しと書いてありました。迎える側の子は全員が自己紹介、「私の名前は〇〇です。好きな〇〇は〇〇です。どうぞよろしくお願いします」。そして最後に、転入してきた子が自己紹介。みんなで校歌を聞かせてあげてから、歓迎のレクが始まりました。早く友達を作ってほしいです。



六年生が卒業文集作りに取り組んでいました。夢や小学校の思い出などをテーマに書き進めています。大工、ドラマー、警察官、ホテルマン、テレビのスタッフ、世界の野球選手等などの夢を書いている子がいました。そのために何をするか、夢を叶えた後に何をしたいか、なぜその夢を持ったのかなども書き始めていました。教室には、50問漢字テストの告知が貼ってあります。夢を叶えるためにも、まずは目の前のテストに全力で取り組んでももらいたいと思ってしまいました。がんばれ、六年生。



各学年で書き初めの練習が始まりました。この日は四年生が取り組んでいる場面に出くわしました。中に入らないと分からないくらいの静寂の中を扇っ子が書き進めています。学校では書き初めは一つの年中行事のようなものです。書き初めを通して身につく力は計り知れないものだと考えます。集中力、日本の文化、粘り強さ、達成感、反省力、目標設定力、計画力などなど。今年も一月には素敵な



作品が並ぶことでしょう。

11月18日（月）道徳

本校は振替休業日ですが、私は出張に出かけました。市内の中学校で研修です。道徳の研修に取り組んでいた成果が、校内の掲示物に表れていました。人間関係を良好に保つためには「嫌なことをされたからといって嫌な態度で返さない」「何を思うかは自由だが、口に出すかは別問題」この2つの言葉を胸に刻んでおいた方がいい。こんな言葉も見つけました。人間関係作りについて気づかされました。



11月17日（日）紅葉

外を歩いていて、紅葉を見つけました。この時期にまだ緑の葉が残っています。珍しいことではないでしょうか。温暖化により、秋が短くなっています。秋を楽しめる日が減ってきていると感じます。本日も日中は24度を越えました。温かい日でした。冬が本当に訪れるのか、疑ってしまう今日この頃です。



11月16日（土）50周年

開校50周年式典を行いました。秋晴れの下で実施できたことに、日頃の子供たちのがんばりを天も認めてくれたように感じました。受付が始まる前には、数人の六年生が掃除をしてくれました。受付が始まると、有志の数人がスリッパを出し、来賓を控え室に案内してくれました。子供がこのような仕事をしている姿を多くのご来賓の方が喜んでくださいました。来賓控え室でのお迎えの言葉も、六年生の子が行いました。

式典が始まったのは9時10分。50周年実施委員会の会長さんが創り上げてくださった記念ムービーから会は始まりました。式典の進行も六年生です。立派に会を進め



てくれました。想像をはるかに上回る、堂々とした立派な進行ぶりでした。市長さん、教育長さん、県議会議員のお二人から祝辞をいただいた後、参加者全員で校歌を歌いました。歌いながら、こみ上げてくるものがありました。

式典終了後は、教育長さんによる未来会議。この会議には、向原中学校の一年生も参加してくれました。教育長さんからの質問に○と×で答えていきます。壇上には五六年の代表が8人いて、教育長さんからの質問に答えてくれました。「学校生活に満足している」と回答している割合や、「学び合いの時間が多い」割合が、扇小は高いことを話してくださり、とても嬉しく思いました。

教育長さんからは、子供たちに向けて「失敗を恐れず挑戦していつてもらいたい」それが「自走」につながるとの熱いメッセージをいただきました。

来賓の方々の退場を見送ってくれたのは、四年生の応援団です。市内体育祭を励ます会で完成させた応援を、この時のために再編成してくれました。ご来賓の方々も歩みを止めて見てくださいました。

扇っ子の思いや扇っ子の力で実施できた式典になりました。先輩校長先生方からも「子供たちがすばらしい！」とお褒めの言葉をいただきました。



11月15日（金）劇・給食・車

劇団アミーゴと扇っ子有志による劇「未来からの風に乗って」を鑑賞しました。本日を迎えるためにアミーゴの方や役者として参加してくれる扇っ子が三ヶ月にわたり準備を進めて下さいました。素敵な劇で、感動しました。扇小の未来は明るい、今をがんばっている人が明るい未来を創るというテーマを感じました。役者として立派に演じた子たちは「緊張した」「本番前、帰りたくなった」「でも、笑ってくれたし、見てくれたし、嬉しかった」と話してくれました。安堵感と充実感あふれる笑顔、素敵でした。

入間ケーブルテレビの「給食大好き」の取材がありまし



た。三年生のクラスに入ってもらいました。献立の紹介の後に、劇の感想を聴く場面がありました。三年生の子は「みんなで笑って楽しかった」「笑えていい劇だった」「友達のお姉さんが出ていた」「お菓子を三日我慢しているというのがおもしろかった」などの感想を言ってくれました。元気なクラス、おいしい給食、楽しかった劇鑑賞後、インタビューに応える声は皆、弾んでいました。

一年生の国語では、紹介文を書く学習をしていました。自分で車を決めて、教科書の文にならって作文をしていくようです。一年生がどんな車を選ぶのか、興味が湧いて聞いて回りました。パトカー、戦車、トラック、郵便車、キッチンカー、バス、パトロールカーなどがありました。中には「お父さんが乗ってるから」と理由を教えてくれた子もいます。家族愛を感じる答えでした。



11月14日（木）けん玉

本校体育館で「こどもライブフェスタ」が行われました。けん玉師のショーとけん玉体験がありました。50人近くの子が集まっていました。けん玉師の伊藤さんは紅白にも出場したことがあり、オリンピックの閉会式でもパフォーマンスを行ったということです。ギネス記録も持っていると話してくれました。高い技術と見たことのないような技に、参加した子供たちは大喜びでした。



11月13日（水）合唱・XK徒・式典

市内音楽会が行われ、扇小学校は午前の部のトリで2曲を歌い上げました。「翼をください」と「アイノカタチ」です。「アイノカタチ」の終盤では、鳥肌が立つほど感動しました。それくらいすばらしい歌声を披露してくれました。あっぱれです。指導講評（ふじみ野市立西原小、村越澄子校長）からは料理の話がありました。おいしいハンバーグは玉ねぎやパン粉や塩、胡椒などがすべて多すぎず、



少なすぎず使われている。合唱も同じで、声の飾りでメロディパートを生かしていくように歌いたい、とのことでした。これは集団生活でも同じかもしれないと感じました。

50周年を記念した芸術鑑賞会にお招きしたのはパフォーマンス集団「XK徒（ザクト）」です。午前中の公演は下学年が鑑賞しました。音楽会から帰ってきて、2年生に感想を聞いてみると誰もが興奮気味に教えてくれました。「こわかった」「あの人生きていてよかった」「おもしろかった」「すごかった！」「驚いた！！」「〇〇さんが浮いたんだよ！」などなど。大きな期待をして午後の公演に参加しましたが、評判通り、4年生以上も大興奮するパフォーマンスでした。生で見たイリュージョンとしては、私史上最高のものとなりました。

11月8日の研究発表会で受付や案内をしてくれた有志の六年生のことを、教育長が高く評価をして下さいました。任せてよかったと思います。16日の式典も、高学年の子に重要な役目を任せています。練習も始まりました。階段アートもほぼ貼り終わりました。これもデザイン等を子供たちに任せて出来上がった作品です。信じて任せればやってくれる、成長してくれる、それが扇っ子です。



11月12日（火）秋空・お菓子・音楽会

秋晴れのとっても気持ちがいい一日でした。そんな日に、一日出張先で会議でした。場所は霞ヶ関。上を見ても、ビルばかり。どこにも山はありません。毎朝校内を回って、秩父山が見える入間市の、埼玉県の良さを実感しました。

全国の校長が集まる会議だったので、お土産を持ってきた方もいます。大分県の校長先生からは、「ざびえる」と「から揚げせんべえ」をいただきました。旅行にでも行かないと巡り会えない美味でした。次回は、いるまんじゅうか川越の芋菓子を持っていこうと思います。ある方からは「渋谷さんの新紙幣を持ってきた」と言われました。

明日は市内音楽会。出場する六年生を励ます会が行われ



ました。「翼をください」と「アイノカタチ」を歌い、扇
っ子に聴いてもらいました。ご指導をお願いした入間市教
育委員会の方からいただいた話は、次の通りです。「はじ
めは声が固いと思ったが、だんだんと表情がやわらかくな
っていた」「一つ一つの言葉をしっかり伝えようとしてい
た。伝えたいという思いがアイノカタチになっていた」。
嬉しい報告を聞きました。



11月11日(月) 並べ替え・お茶・感想

彩の森公園で活動している二年生を見に行きました。い
ろんな所になぞなぞの問題がありました。「お昼がすきな
のは、小学何年生？」など。子供たちはカードを持って
いて、ひらがなをマスの中に埋めていました。そのひらがな
を並べ替えるとある言葉になります。しかしそれでゴール
ではないようで、先生から出された問題に悩んでいました。
秋空の下、広い公園でとっても楽しい学び合いが行われて
いて、うらやましくなりました。



三年生が扇っ子タイムでお茶について学んでいます。そ
れぞれの子が書き留めてあるワークには、疑問に思ったこ
とが書いてあります。「何でお茶の色は緑や茶色なんだろ
う？」「お茶は外国には何種類あるのか？」「どうしてお茶
ができたのか？」「お茶をつくる機械はあるのか？」「お茶
にはどんな歴史があるのか？」などなど。この「？」がと
っても大事なのです。それぞれの探求によって「？」が「！」
に変わることでしょう。



一年生の朝の会で、金曜日に行った研究発表会の感想を
発表する場面がありました。多くの方に授業を見ていただ
いた思いは、休みを挟んでも残っていたようです。「緊張
したけど、授業はちゃんとできた」「はじめはドキドキし
たけどがんばった」「勉強は楽しかった」「ひき算の作戦を
使えるようになった」「日直、恥ずかしかったけど、ちゃ
んとできてよかった」など。最後の発表には、笑ってしま
いました。「中田一平さんが来たので驚いた」。教育長の名



前を覚えていた子がいました。

11月10日（日）見る

散歩をしているとたくさんの柿がなっている木を見つけました。近づいてみると柿ではないことに気づき、その場を一周すると「ミカン園」と書いてある看板を見つけました。ものをしっかり見ることの大切さに気付かされました。職員玄関に貼った11月の言葉、永井玲衣氏の言葉を思い出しました。「**見る**ことによって知っていたと思い込んでいたものが変形する。知っていたと**思い込んで**いた自分が変わる」。その通りなのですね。



11月 9日（土）「問い」

昨日ご講演をいただいた永井玲衣氏の本をもう一度読み返しました。「問い」という、学校教育ではとっても重要なワードが頭から**離れな**くなくなってしまいました。私自身が「問い」を**もって**生きてきたか。子供たちの「問い」を**大事に**してきたか。考えてしまいました。氏の著書「**世界の適切な保存**」には、次のような記述がありました。

問いが生まれて、消えていく。問いはこわれやすい。気まぐれにやってきて、わたしたちに何かをささやき、とらえきれないままにどこかへ行ってしまう。だからわたしはあなたの問いの手をつかんで、適切に保存せねば、と思う。だが、どのようにして？（中略）どんなに記憶しようとしても、わたしたちのよくわからない何かは、適切に保存することはできない。



11月 8日（金）発表会・対話・わり算

本校の研究発表会には、90名ほどの参加者が来校していただきました。授業を公開した一年生、四年生、六年生はもちろん張り切って**学習**に取り組んでくれました。会場



の椅子並べをしてくれたのは、五年生。また六年生の有志の子が会の運営を手伝ってくれました。受付、案内、来賓対応、資料渡しなど、とっても心強かったです。張り切って活動し、輝いている扇っ子をたくさんの先生方に見てもらえました。

発表会では、記念講演を哲学者の永井玲衣氏にお願いしました。素晴らしいお話と対話の体験をさせてもらえました。特に心に残ったことをお知らせします。

- ・対話とは、聴き合うこと。誰かの考えを聴いて、考えをつくること。
- ・対話には、待つことが大事。答えを出すことよりも「問い」を大事にする。「分からない」を見つけたことを喜ぶようにする。「いいこと」を求めなくてよい。

先週から、三年生のわり算検定を行っています。休み時間になると、三年生が校長室に検定を受けにやってきます。昨年度、九九検定を合格した三年生なので、勝手は分かっているようです。検定を楽しんでいる私にとって、心が温かくなるのが2つあります。合格したときの喜びと検定を受ける子を無言で応援している子たちの祈る表情です。三年生全員が合格するまで、校長室には温かい風が吹き続けます。



11月 7日（木）階段・職業・口

ついに階段アートがペールを脱ぎました。これまでは空き教室でひっそりこっそりと作られてきました。南校舎の作品は六年生が、北校舎の作品は五年生が、二学期に入ってからずっと作成に取り組んできました。ついに階段に貼られ、日の目を浴びる時が来たのです。手伝ってくれた四年生も喜んでいました。作っていることは知っていたそうですが、完成した絵までは知らなかったそうです。階段に絵が浮かび上がるまでに、それほど時間はかかりませんでした。

四年生の子が「扇っ子タイム」で職業を調べています。



おそらくは**将来の夢**の一部なのだと思います。数人に聴いてみました。()内は理由です。「**科学者**(今、化学クラブに入っているから)」「**ラーメン屋**(店主になって独自のスープを作りたいから)」「**ツアーガイド**(旅行が好きだから)」「**保育士**(赤ちゃんが好きで世話しても苦にならないから)」「**医者**(人を助けたいから)」。本日訊いた子は、全員がなぜなりたいのかを答えてくれました。

一年生が図工で、口が**パクパク開閉**する生き物を作っています。楽しい、愉快的生き物がたくさん机に並んでいます。「**これ何を作ってるんですか?**」と最初に訊ねた子は「**口です**。パクパクするんだよ」と、パクパクする様子を見せてくれました。お礼を言って、二人目の子にも同じ質問をしました。「**これは口**。パクパクするよ」と、同じようにパクパク具合を見せてくれました。隣の子が私の思いに気づいたようで「そうじゃないよ。これ**恐竜**でしょ。」と、その子に話していました。気を使わせました。



11月 6日(水) お帰り・火・SDGs

智光山公園から帰ってきたバスから降りてきた**一年生**の言葉を紹介します。「世界**一思い出**に残った!」「バスで**酔わ**なかった!」「**どんぐり**拾いすぎた!」「**モルモット**をさわった!」「**バス**で寝ちゃった」「**お菓子**、全部食べられなかった!」「楽しかった!疲れたけど」「いろんな動物がいた!」「早く**帰り**たい」……。門で待っていた私にたくさんの子が興奮した声で話しかけてくれました。みんな元気で何よりでした。



四年生が理科で、**マッチ**で火をつける活動をしていました。マッチ棒の持ち方や火の付け方、火の消し方などを唱えながら行います。**練習**を2回してから本番。練習は指定された順番に行いましたが、本番は**自信**のある子から。「**自信ある**」と言って、グループ内で最初に火をつけた子は**経験者**のようです。火がついて**オロオロ**してしまう子は、この数人後に登場し始めました。



五年生がSDGsについて真剣に自分の考えや調べたことをまとめていました。いよいよプレゼンによって、まとめたものを友達に聴いてもらう時間が近づいていることが分かりました。練習を始めている子もいます。ある子のプレゼンを見せようと、問題ごとに見慣れない人が登場してコメントしてくれています。「誰なのか」を訊ねると「父親」だと教えてくれました。家族でもこの問題について考えているようで、うれしくなりました。



11月 5日（火）商品・調理・熱

三年生がヨークマートに社会科見学に行きました。お店の裏側を見せてもらい、子供たちも興奮気味でした。肉を切っている厨房、魚をさばいている厨房、お弁当を作っている室内、冷凍室にも入れてもらいました。作業している方が全員マスクをしていること、帽子をかぶっていること、頻繁に手洗いをしていることなどを実際に見ることができました。安全が第一だと説明もいただきました。数人から「お腹がすいてきた」「食べたい」という声が聞こえてきました。同感でした。



六年生が調理実習をしました。あるグループでは早々とある料理が完成していました。火を使っていないのです。「ちくわにキュウリを入れただけです」と謙虚に教えてくれました。「よかったらどうぞ」と進められたのですが、キュウリが芸術的に並んでいたのどこから手をつけてよいか迷ってしまいました。申し訳なかったので、「もし、残ったらください」と伝えました。その「残り」は私の所にやってきませんでした。完食されたようです。

四年生が理科で熱の伝わり方について学び合っていました。鉄板のある場所をあたためたら、どんな順番に熱が伝わっていくかが問題です。いろんな意見が発表されました。「近いところから順に温まっていく」「近くても、空気の所には伝わらない」「熱は、鉄の上を伝わっていく。空気ではない」「熱は斜めには伝わりにくい」などなど。



実験前に予想が盛り上がると、活動意欲が高まります。

11月 4日（月）青空

とても良い天気です。学校を後にするとき、青空を名いっばい感じました。それは桜の木を先日剪定してもらったおかげです。剪定前は青空を覆うように枝や葉が目に入ってきたものです。11月の玄関の言葉に選んだのは、永井玲衣氏（本校で11月8日にご講演をいただきます）の言葉を選びました。

見ることによって、
知っていたと思い込んでいたものが変形する。
知っていたと思い込んでいた
自分が変わる。



11月 3日（日）花

航空祭。入間市に近づくと渋滞に巻き込まれると思い、本日は出勤を控えました。天気が良く散歩をしていると、道ばたに咲く花に出会います。本日撮影したのは、2枚です。1枚は、石碑の前で咲いていた紅白の花。もう一つは、たまたま蝶が止まった花。帰ってから花の名前を調べましたが、誤情報になる可能性もあるので、ここには書きません。温かい、とても良い休日でした。文化の日でした。



11月 2日（土）祝福

本校職員が結婚式を挙げました。披露宴で、子供たちからのメッセージがサプライズで会場に流れました。今担任している子だけでなく、昨年度、一昨年度担任した子からもメッセージがあり、感動しました。どの子も師の幸せを心から喜んでくれています。そしてその幸せがずっと続き、広がり、大きくなることを願っているのだと感じました。幸せを願ってくれる人とたくさんで会える、教師冥利に尽



きる瞬間だったことでしょう。

11月 1日（金）ひき算・バレー・挫折

一年生の算数です。「 $14 - 8$ の計算の仕方について友達に説明する」活動をしていました。説明する前に、自分なりの説明をワークにまとめるために学び合っている場面では、サクランボを使っていました。「 14 の 10 を、**2と8に分ける**。 10 から8をひいて2。**2と4で6**」。これを説明するのに図が必要になるのです。ある子に「史記で書けますか？」と声をかけると、その子は、2つの式を書きました。 **$10 - 8 = 2$ $2 + 4 = 6$** 。説明にも式が出始めると、理解は深まっています。

五年生が体育館で取り組んでいるバレーボールを見ました。練習場面は何度か見たのですが、この時は試合が始まりました。本来のバレーボールと違うのは、ボールを**持ってから**パスやトスをするところ。3人目の**アタック**は、バレーボールそのもの。相手の**いないところ**に落とそうとしたり、**強い球**を打ち込んだり、白熱した点の取り合いが展開され、バレーボールの試合らしくなってきました。**見ていて楽しい**のも、スポーツの良さです。

三年生の道徳では「**今ががんばっていること**」を発表し合った後に、「挫折した体験、**努力をやめたくなくなった**ことはないか」の問いがありました。この問いにはあまり手が上がりません。当然です。**思い出したくない**可能性があるからです。それでも数人が挫折体験を話してくれました。「**難しい**漢字が登場してきたとき」「試合で**負けて**しまったとき」「試合でドリブルが**通用しなかった**とき」など。そんなときにどのように取り組めば良いか、教材の中の主人公を通して学び合っていました。

